

● 現在の経営状況*2

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	17.4 p	△ 2.2 p ↘
不動産流通業(住宅地)	4.9 p	10.6 p ↗
ビル賃貸業	7.7 p	9.7 p ↗

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 2.2p 悪化し 17.4p。5期連続のプラス水準。
不動産流通業は前回から 10.6p 改善し 4.9p。12期ぶりのプラス水準。
ビル賃貸業は前回から 9.7p 改善し 7.7p。7期ぶりのプラス水準。

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	△ 2.2 p	△ 10.9 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 7.0 p	△ 4.2 p ↘
ビル賃貸業	△ 11.5 p	2.5 p ↗

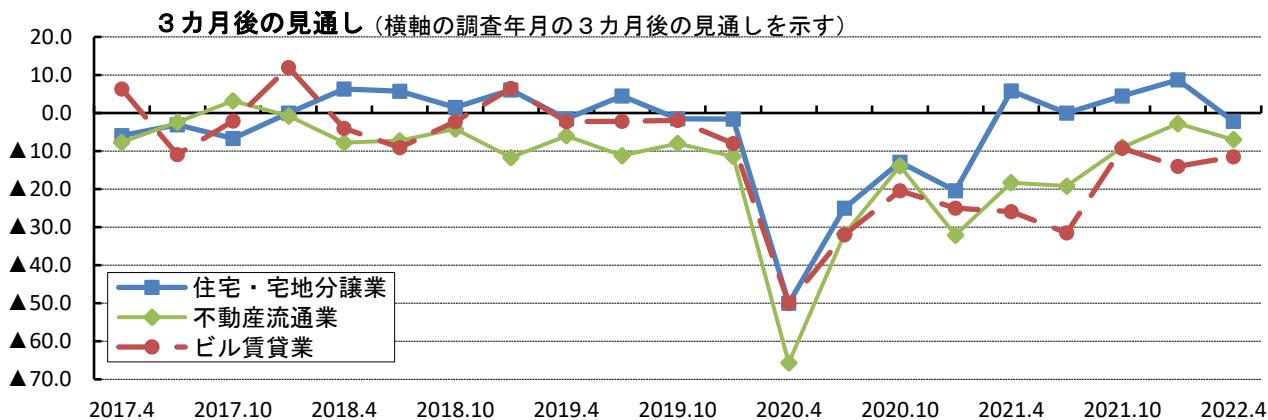
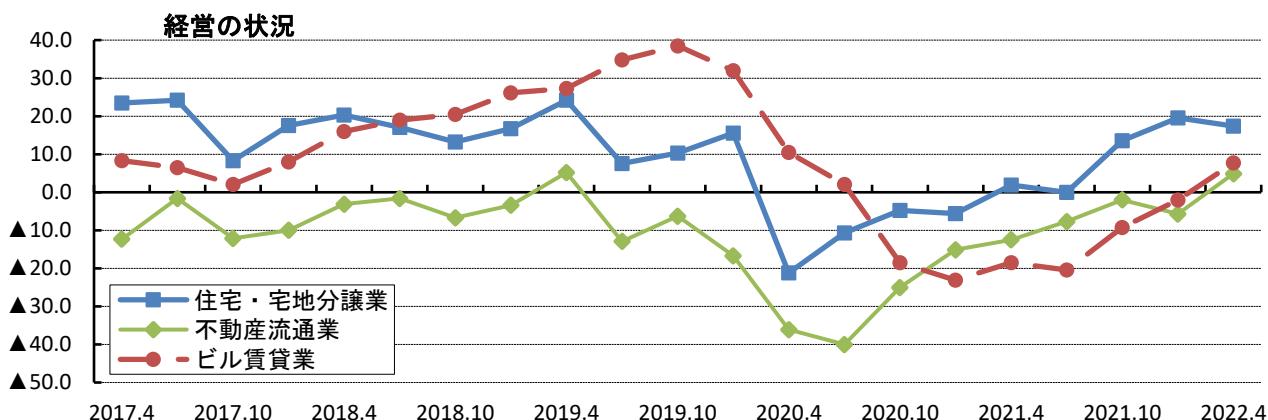
3ヶ月後の見通しは、ビル賃貸業で改善、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。

調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = {（「良い」×2「やや良い」）-（「悪い」×2「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

*3 3ヶ月後の見通し = {（「良くなる」×2「やや良くなる」）-（「悪くなる」×2「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100
(調査年月の3ヶ月後の見通しを示す。)



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料:一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第115号「不動産業業況等調査」